



まちの話題



「千人塚」が史跡として整備されました



▲2月13日、感謝状贈呈式を千人塚で行いました

寺福童にある福童原古戦場(通称「千人塚」)は、南北朝の戦乱の一つである大原合戦(1359年)から15年後の1374年に、大宰府を追われた南朝側の菊池勢と北朝側の今川勢が戦い、その戦死者を祭ったと伝えられる場所で、小郡市の歴史の中でも大原合戦前後の重要遺跡として、史跡めぐりコースの一部になっています。

昨年、この千人塚の土地所有者の佐藤禎祐さんと岡正三さんから土地寄贈の申出を受け、(株)ワイドレジャー(菊池康男社長)が遺跡公園として整備を行い、市に寄贈されました。

市では、地域の歴史と文化を伝える遺跡として末長く保存し、今後は学校教育・社会教育に活用しています。

全日本少年アイスホッケー大会出場



内野悠平くん(宝城中3年)が3月26~28日に北海道釧路市で開催される第7回全日本少年アイスホッケー大会に福岡県選抜チームのキャプテンとして出場することを平安市長へ報告しました。

内野くんは小学校1年からアイスホッケーを始め、毎週日曜日、福岡市のアイスリンクの営業時間前後の早朝、夜の2回練習に励んでいるそうです。

大会に向けた抱負として「キャプテンとしてチームをまとめ、チーム全員でまずは1勝することが目標です」と語ってくれました。

平安市長は「チームの輪を大事にして、福岡の代表として頑張ってください」と激励。将来はプロチームで活躍したいという内野くんに「自分の目標に向かって突き進んで!」とエールを送りました。

「災害時備蓄に関する協定」を締結



1月31日、市内で大災害が発生した場合に食糧や生活必需品などの物資供給について、NPO法人コメリ災害対策センター(新潟市)、みい農業協同組合(小郡市)と、市が購入した災害時備蓄品を保管するための備蓄倉庫の賃借について、コカ・コーラウエストロジステイクス(株)(福岡市)と協定を締結しました。

市では、災害時の備蓄体制の構築を図るため、平成24年12月に「小郡市災害時備蓄計画」を策定し、平成28年度までの5か年計画で災害時備蓄品の整備を進めています。

しかし、今後の防災対策を進めていく上で、大規模災害発生時の迅速かつ的確な対応がますます重要となることから、災害時の物資供給について、市が保有する防災資機材や災害時備蓄品のほか、災害時に自社製品などを速やかに供給してもらえる事業者との協力体制が不可欠だと考え、協定を締結しました。

平安市長は「協定を締結したことで、さらに充実した救援物資の確保と応援体制を構築することができ、大変心強く感じている。今後も連携の強化を図り、安全・安心のまちづくりに向けて取り組んでいきたい」と話しました。

五穀豊穡、商売繁盛を願って



2月9日、創建800年の歴史を持つ黒岩稲荷神社(西島)で初午祭が行われました。神前に餅や鯛、野菜などを供え、五穀豊穡、商売繁盛を祈る祭りで、多くの参拝客が訪れていました。

境内では、御神酒やぜんざいなどの振る舞いや地元西島区のひょっとこ踊りの披露で大変賑わっていました。